

子育てサロン特別プログラム「せんせいとあそぼう」

2024年6月5日 実施報告

参加者：親子15組（子ども16名）

担当：道城先生 / 心理学部学生17名（B1・B2班）

指導教員 道城・村井 / 実習助手 谷山 / 保育スタッフ 下村・矢崎

内容：保護者の居場所づくり

お子さんたちだけでなく保護者のみなさまにも参加いただき、一緒に楽しんでもらう

タイムテーブル

14:15～ はじまりのあいさつ、お名前呼び

14:20～ プログラム

14:40～ おわりのあいさつ

今日の「せんせいとあそぼう」はエプロンシアターでした。最初に恒例の「質問しちゃう!!」コーナーで、「最近食べた美味しかったものは?」「子育てをしてよかったことは何ですか?」といった質問に回答してもらったあと、「おやつたーべよ」の音楽に合わせて手遊びを楽しみました。手遊びが終わって、どーじょーせんせいがかいじゅうのアップリケのついたエプロンを身に着けて登場すると、お子さんたちが「おや?」という表情でどーじょーせんせいの前に集まってきました。どーじょー先生が「みんなが“おやつたーべよ”の歌うたってたから、おなかがすいてきたんだって、どうする?」「何食べようかなあ?」「これな〜んだ?」「みんな好き?」と声をかけると、お子さんたちから「りんご!」「アイス!」「そんなに食べられへん!」といった声が上がりました。プログラムの最後にはどーじょー先生から、言葉が出やすいタイミングはお子さんが要求するときであり、お子さんが何かを取ろうとしたときに、「これは●●だよ」と声をかけると楽しく言葉を広げることができるとの説明がありました。「まなびー」の特別プログラムでは、お子さんの年齢ごとに色の違う名札をつけていただいています。色を手掛かりに、保護者のみなさま同士の交流のお手伝いができればと願っております。



文責：村井

子育てサロン特別プログラム「せんせいとあそぼう」

2024年5月8日 実施報告

参加者：親子10組（子ども11名）

担当：道城先生 / 心理学部学生17名（A1・A2班）

指導教員 道城・村井 / 実習助手 谷山 / 保育スタッフ 福本・高木

内容：保護者の居場所づくり

お子さんたちだけでなく保護者のみなさまにも参加いただき、一緒に楽しんでもらう

タイムテーブル

14:15～ はじまりのあいさつ、お名前呼び

14:20～ プログラム

14:40～ おわりのあいさつ

今日は今年度最初の「せんせいとあそぼう」でした。このプログラムは、「まなびー」がお子さんたちだけではなく、保護者のみなさまにとっても居心地の良い場所になることを願って、保護者のみなさまにもご参加いただく内容になっています。

最初に恒例の「質問しちゃおう！！」コーナーです。これは、学生がインタビュアーになり、いろいろな質問が書かれたフリップの中からお子さんに1つ選んでもらって、保護者のみなさまに回答していただくプログラムです。「お子さんの推しポイントは？」「お子さんのよく見るテレビ番組は？」「ダンナ様との出会いは？」「将来お子さんと一緒に行きたい場所は？」などなど、ドキドキの質問にワクワクの回答が次々に寄せられて、学生たちも大興奮でした。

次に、お子さんに人気の絵本「ピヨーン」の読み聞かせです。どーじょーせんせいがお子さんたちの顔を見まわしながら、「うさぎが～??？」と語りかけると、お子さんたちから歓声が上がり、飛び上がりたくて仕方がない様子がかげえました。

絵本の次は親子の触れ合い遊びです。「きゅうりができた」「バスに乗って」を学生たちも人形をヒザに抱いて一緒に楽しんでいると、お子さんたちが面白そうに学生の方を眺めたり、保護者と目を合わせて笑ったりしてくれていました。学生たちは最初おっかなびっくりでしたが、お子さんたちの笑顔に緊張が和らいだようでした。



文責：村井